

日本労働年鑑 第24集 1952年版

The Labour Year Book of Japan 1952

第一部 労働者状態

第三編 労働者・農民の組織状況

第一章 労働者の組織状況

第二節 加入系統別組織状況

一九五〇年六月末現在において主要上級団体に加入する構成単位組合数および構成組合員数とその推移は第81・82表のごとくである。さらに、一九五〇年六月末の労働組合基本調査前後における労働組合の組織系統を大別すれば三つの系統にわけられる。一つは同年三月準備会として誕生した日本労働組合総評議会(総評)であって、同年七月結成当時の組織労働者数は同本部公表によれば約三二五万であるが、労働組合基本調査の結果によれば約二七六万であった。第二は全国労働組合連絡協議会(全労連)であって、その構成員数は労働組合基本調査によると約七六万と推定された。全労連は一九五〇年八月三十一日団体等規正令によって解散している。第三は前記二系統に所属しないいわゆる中立無所属の組合であって、労働組合基本調査によるとその構成員数約二二六万であった。

日本労働年鑑 第24集 1952年版

発行 1951年10月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

2000年6月1日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1952年版(第24集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)